



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <https://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部長 兼 経営企画室担当 (氏名) 森山 勇二

TEL 092-724-4925

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,267	4.2	25		21		23	
2022年3月期第1四半期	2,177	5.6	174	55.9	172	56.1	82	118.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 10百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 82百万円 (113.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	3.95	
2022年3月期第1四半期	13.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	9,136	5,374	58.8	889.85
2022年3月期	9,179	5,530	60.2	915.61

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,374百万円 2022年3月期 5,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		24.00	24.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,416	10.3	400	13.2	392	6.2	190	15.0	31.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,257,230 株	2022年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	216,928 株	2022年3月期	216,891 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,040,330 株	2022年3月期1Q	6,121,878 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種が進むにつれ、感染者数も減少し、経済活動の正常化が期待されるものの、感染の再拡大やウクライナ情勢の長期化、また原材料価格やエネルギー価格の高騰等、国内外において経済活動への影響が懸念され、先行きは不透明な状況となっております。

食品業界では原材料費の高騰等に伴うさまざまな商品の値上げ拡大による影響が大きく、節約へのニーズが強まる一方、外食業界におきましては、行動制限も緩和され、回復傾向ではありますが、感染の再拡大等の懸念もあり、経営環境は厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当社グループは、ファンベース経営のさらなる強化、魅力のある商品開発、価値訴求に重点を置いた販売体制の構築を行い、当社の強みを伸ばし、さらなるブランド価値向上に努めてまいりました。

食品事業では商品価値訴求の営業施策を行うとともに、4月に行った価格改定の浸透に注力してまいりました。レストラン事業では前期に引き続き感染防止対策を徹底した営業、各種施策に取り組んでまいりました。食品事業での価格改定の影響はあったものの、行動制限の緩和が徐々に進んだことで来客数が増加したこと等により、レストラン事業の売上が前期を大きく上回り、増収となりました。

利益面では、レストラン事業の損失が大幅に改善したものの、特に食品事業において食用油等の主原料コストの高騰が想定以上に大きく影響し、減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は22億67百万円(前年同期比4.2%増)、営業損失は25百万円(前年同期は1億74百万円の利益)、経常損失は21百万円(前年同期は1億72百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は23百万円(前年同期は82百万円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①食品事業

収益基盤のドレッシングカテゴリーでは、ブランド価値向上に重きをおいた営業施策を行うとともに、4月に行った価格改定の定着・浸透を図ってまいりました。特に主力の「ピエトロドレッシング 和風しょうゆ」を中心に、「和風しょうゆシリーズ」のおいしさやこだわりをさらに訴求することで、潜在需要の喚起を行ってまいりました。しかしながら、価格改定の影響が大きく、前年同期の販売額を下回りました。

第2の柱であるパスタ関連カテゴリーでは、簡便性の高いおうちパスタシリーズで人気の「おうちパスタ ごま醤油ガーリック」「おうちパスタ ペペロンチーノ」に続く商品として、前期3月にリニューアルを行った「おうちパスタ バジル」の新規導入強化を行ってまいりました。また手軽で本格的なレトルトパスタソース「洋麺屋ピエトロ」では“レストランの味をご家庭で”の強みを活かした提案を行い、レストランの人気メニューを商品化した「洋麺屋ピエトロ 絶望スパゲティ」、昨年リニューアルを行った「洋麺屋ピエトロ お肉好きのあなたのためのボロネーゼ」の拡販に注力いたしました。レトルトパスタソースの販売は好調に推移いたしましたが、価格改定の影響で「おうちパスタシリーズ」の販売額が前年同期を下回る結果となりました。

成長事業である冷凍商品カテゴリーでは、ライフスタイルの変化等でニーズが拡大している冷凍商品を、自宅で本格レストランの味が楽しめる高付加価値商品として、冷凍ピザ、パスタ、ドリアの拡販強化を行ってまいりました。リピーターも増えており、スポット販売から定番化へ配荷が進む等、前年同期の販売額を大きく上回りました。

育成事業であるスープカテゴリーでは、直販店舗や期間限定ショップでお客様に寄り添った接客を行い、販売強化に取り組んでまいりました。コロナ禍で控えていたスープの試食も再開し、お客様に美味しさやこだわりを知っていただくとともに、「プチギフト」「パーソナルギフト」の需要の高まりもあり順調に販売数量を伸ばしました。また、新規出店やアプリの活用を通して、さらなるスープブランドの認知度向上を目指してまいります。

新規出店につきましては、以下のとおりです。

出店時期	店舗名
2022年4月	PIETRO A DAY 浦和パルコ店

さらに通信販売では、通常のギフト販売の他、毎月商品をセレクトしてお届けする定期便において、販売が好調な冷凍商品の取り扱いを始める等、新しい取り組みも行いました。

しかしながら、市況の悪化、競争の激化、価格改定による売上減の影響が大きく、食品事業全体の売上は減収となりました。

利益面では、生産性の向上に努めたものの、価格改定による売上の減少と、想定以上の食用油等の主原料の高騰の影響が大きく減益となりました。

以上の結果、セグメント売上高は15億28百万円(前年同期比11.5%減)、セグメント利益は4億9百万円(前年同期比34.5%減)となりました。

②レストラン事業

レストラン事業では、お客様と従業員の安全のための感染予防対策をしっかりと行いながらの営業を続けてまいりました。

スペシャルランチやディナーメニュー等の高付加価値メニューの提供や、質の高いサービスを追求するためのスタッフ研修のさらなる強化等、顧客満足度向上のための施策を実施した結果、顧客単価、来客数ともに上昇し、前年同期の売上を大きく上回りました。さらに、テイクアウトメニューの拡充やデリバリー、店頭での物販強化にも取り組んでまいりました。

利益面におきましても、原価率の改善等の利益構造改革に取り組み、大幅な収益改善となりました。

また、ファンづくりの場であり、エリアマーケティング機能の強化も担う店舗を下記のとおり、新規出店、リニューアルオープンいたしました。いずれの店舗も売上は好調に推移しております。

出店・リニューアル時期	店 舗 名
2022年4月	ピエトロ鹿児島センテラス店
2022年4月※リニューアル	PIETRO MIOMIO 天神地下街店
2022年4月	ピエトロ イオンモール浦和美園店
2022年4月	ピエトロTHE OUTLETS KITAKYUSHU店

以上の結果、セグメント売上高は6億99百万円（前年同期比70.9%増）、セグメント損失は8百万円（前年同期は91百万円の損失）となりました。

③その他（本社ビルの賃貸等）事業

その他（本社ビルの賃貸等）事業におきましては、セグメント売上高は39百万円（前年同期比1.9%減）セグメント利益は19百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し91億36百万円となりました。これは主に有形固定資産（純額）が72百万円、現金及び預金が40百万円増加する一方、売掛金が1億98百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加し37億61百万円となりました。これは主に買掛金が44百万円、流動負債のその他が1億47百万円、資産除去債務が20百万円それぞれ増加する一方、未払法人税等が69百万円、長期借入金（1年内含む）が30百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少し53億74百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億44百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失23百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,899	1,298,644
預け金	33,432	41,480
売掛金	1,338,915	1,140,044
商品及び製品	177,366	189,386
仕掛品	15,574	12,892
原材料及び貯蔵品	124,794	139,062
その他	136,134	133,189
貸倒引当金	△36	△51
流動資産合計	3,084,081	2,954,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,511,705	2,618,674
土地	2,020,401	2,020,401
その他(純額)	765,651	730,780
有形固定資産合計	5,297,758	5,369,856
無形固定資産	115,276	119,176
投資その他の資産		
敷金及び保証金	389,368	399,567
保険積立金	80,732	80,732
その他	231,910	232,259
貸倒引当金	△19,516	△19,487
投資その他の資産合計	682,495	693,072
固定資産合計	6,095,530	6,182,105
資産合計	9,179,612	9,136,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	471,238	516,073
短期借入金	1,350,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	120,794	120,000
未払金	400,413	405,321
未払法人税等	86,037	16,419
契約負債	14,806	27,356
賞与引当金	66,449	37,923
その他	268,270	416,175
流動負債合計	2,778,010	2,889,270
固定負債		
長期借入金	256,667	226,667
リース債務	112,311	107,669
長期末払金	156,925	156,925
退職給付に係る負債	147,814	163,457
資産除去債務	98,594	119,125
その他	98,701	98,701
固定負債合計	871,014	872,545
負債合計	3,649,025	3,761,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金	1,076,152	1,076,152
利益剰余金	3,783,364	3,614,531
自己株式	△371,554	△371,621
株主資本合計	5,530,352	5,361,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△947	△992
為替換算調整勘定	1,181	14,479
その他の包括利益累計額合計	234	13,487
純資産合計	5,530,586	5,374,939
負債純資産合計	9,179,612	9,136,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,177,015	2,267,869
売上原価	967,370	1,068,224
売上総利益	1,209,645	1,199,644
販売費及び一般管理費	1,035,025	1,224,825
営業利益又は営業損失(△)	174,620	△25,180
営業外収益		
受取利息	89	78
受取配当金	96	128
為替差益	—	5,041
貸倒引当金戻入額	29	13
その他	1,225	1,272
営業外収益合計	1,440	6,535
営業外費用		
支払利息	1,926	1,787
シンジケートローン手数料	459	623
為替差損	1,064	—
その他	481	120
営業外費用合計	3,930	2,531
経常利益又は経常損失(△)	172,129	△21,176
特別損失		
固定資産除却損	30,500	0
その他	10	—
特別損失合計	30,510	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	141,618	△21,176
法人税、住民税及び事業税	42,761	7,081
過年度法人税等戻入額	—	△18,627
法人税等調整額	15,868	14,235
法人税等合計	58,629	2,689
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82,989	△23,865
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	82,990	△23,865

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82,989	△23,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,137	△44
為替換算調整勘定	517	13,297
その他の包括利益合計	△620	13,253
四半期包括利益	82,369	△10,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,370	△10,612
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,727,268	409,488	762	2,137,520	—	2,137,520
その他の収益	—	—	39,495	39,495	—	39,495
(1) 外部顧客への売上高	1,727,268	409,488	40,258	2,177,015	—	2,177,015
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,727,268	409,488	40,258	2,177,015	—	2,177,015
セグメント利益 又は損失(△)	625,914	△91,280	23,572	558,206	△383,586	174,620

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は383,586千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,528,776	699,613	762	2,229,152	—	2,229,152
その他の収益	—	—	38,716	38,716	—	38,716
(1) 外部顧客への売上高	1,528,776	699,613	39,478	2,267,869	—	2,267,869
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,528,776	699,613	39,478	2,267,869	—	2,267,869
セグメント利益 又は損失(△)	409,942	△8,983	19,074	420,033	△445,214	△25,180

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は445,214千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、2022年7月14日開催の取締役会において、自己株式の処分（以下「本自己株式処分」又は「処分」という）を行うことについて決議いたしました。

1. 処分の概要

(1) 処分期日	2022年8月9日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 20,270株
(3) 処分価額	1株につき1,825円
(4) 処分総額	36,992,750円
(5) 処分先及びその人数並びに処分株式の数	当社の取締役（社外取締役を除く。）5名 計20,270株
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

2. 処分の目的及び理由

当社は、2019年5月14日開催の取締役会において、当社の社外取締役を除く取締役（以下「対象取締役」という。）に対する中長期的なインセンティブの付与及び株主価値の共有を目的として、当社の対象取締役を対象とする新たな報酬制度として、譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」という。）を導入することを決議し、また、2019年6月25日開催の第34期定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式取得の出資財産とするための金銭報酬として、対象取締役に対して、年額60百万円以内の金銭報酬債権を支給すること及び譲渡制限付き株式の譲渡制限期間として3年から20年までの間で当社の取締役会が定める期間とすることにつき、ご承認をいただいております。